

PEER STEINBRUECK

LONDON
SPEAKER
BUREAU

▪ Former Finance Minister of Germany



Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

PeerSteinbrückは、Angela Merkel首相のもと、2005年から2009年までドイツの財務大臣でした。同氏は、経済危機の際に、長期的には経済を助けることを目的とした、困難で不人気な決断を数多く担当しました。

1974年に経済学と社会科学を卒業した後、シュタインブルックはドイツのいくつかの省庁に勤務し、1978年から1981年にかけてドイツのヘルムートシュミット首相の事務所に勤務しました。1980年代、シュタインブルックは、ノルトライン＝ヴェストファーレン州の大臣、ヨハネス・ラウの首席補佐官を務めました。1993年に、彼はシュレースヴィヒ＝ホルシュタイン州の経済とインフラ大臣になりました。その後、ノルトライン＝ヴェストファーレン州に戻り、1998年に経済インフラ大臣、2000年に財務大臣に就任しました。2002年から2005年にかけて、ノルトライン＝ヴェストファーレン州の大臣を務めました。彼はSPDとグリーン党の間の連立政権を率いた。2005年5月22日の州選挙では、シュタインブルックのSPDはキリスト教民主党(CDU)の反対に敗れた。この損失は連邦政治にも影響を及ぼしました。それから彼自身の党の中で弱い世論調査と批判によってすでに嫉妬していたドイツの首相GerhardSchröderは、連邦選挙のための早期の連邦選挙を呼び出す計画を発表しました。これは最終的に2005年の連邦選挙をもたらしました。2005年の連邦選挙後SPDとCDUは、新首相アンジェラ・メルケル首相(CDU)の指導の下で大規模な連立を結んだ。

PeerSteinbrückは、2005年11月にドイツの財務大臣に就任しました。2005年から2009年まではSPDの副会長も務めていました。連邦財務相としてのPeerの主な業績の1つは、納税者番号を導入することでした。これは長年にわたって議論されてきた動きです。彼は一般的に党のより保守的な翼の一員と考えられているSteinbrückはまた、2009年にドイツとスイスの間で何らかの緊張を引き起こした、スイスの銀行秘密に対する鋭い批評家でもありました。

Steinbrückは、財務大臣を経て、2009年から国会議員(連邦議会)を務めました。特に経済問題に関してはSPDの議長を務めてきました。2013年に彼はアンジェラメルケルに対する連邦選挙で逃げた。

多くのカバーテーマの中でPeerは、政治、ヨーロッパ、世界経済、そしてBrexitについて語っています。